

TAKADAKAWAKOKU

春

夏

秋

冬

事業概要

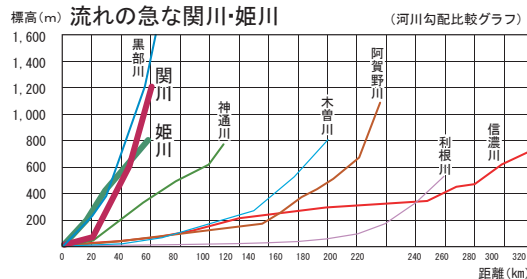
写真提供：妙高市

上越地域の河川と災害

過去の河川災害の状況

急流河川と水害

上越地域は、梅雨前線や台風の大雨により何度も大きな災害に見舞われています。この地域を流れる関川・姫川は、日本でも有数の急流河川であり、大量の水が一気に流れ込むと、川を下る水のエネルギーは凄まじく流域の各地で被害が発生します。



関川

関川流域は、上流域では上信越高原国立公園として自然環境に恵まれ、下流域では高田平野に広がる田園地帯となっており、この地域における社会・経済・文化の拠点都市である上越市があります。

関川では、4半世紀の間に昭和56年、57年、60年、平成7年と4回の大きな水害に見まわれました。その後の河川整備により、堤防断面は概ね確保されるまでになっていますが、依然として、洪水を安全に流下させるための川の器が不足しています。また、関川河口部・保倉川では、内水被害も多く発生しています。近年多発している集中豪雨などに見まわれた場合には水害が発生する可能性が高く、放水路等の整備を進めていく必要があります。



平成7年7月 保倉川出水・浸水状況

● 関川の流域の概要

流路延長	64km
流域面積	1,140km ²
流域市町村	上越市、妙高市、長野市、飯山市、信濃町（4市1町）
流域内人口	約21万人
支川数	76



平成7年7月 関川出水 妙高市月岡地先堤防決壊状況

● 関川・過去の主な洪水と洪水被害

発生年月日	発生原因	被害状況
昭和56年8月23日	台風15号	床上浸水512戸、床下浸水538戸、浸水面積443ha
昭和57年9月13日	台風18号	全半壊5戸、床上浸水2,738戸、床下浸水4,472戸、浸水面積717ha
昭和60年7月8日	梅雨前線	床上浸水302戸、床下浸水2,171戸、浸水面積2,699ha
平成7年7月11日	梅雨前線	行方不明者1名、全半壊70戸、床上浸水2,167戸、床下浸水2,620戸、浸水面積2,217ha

出典:水害統計(建設省河川局監修)

姫川

姫川流域は、その大半を山地が占め、そのほぼ中央にあるフォッサマグナの西の縁の糸魚川-静岡構造線に沿うように姫川が流れています。このため流域の地質は脆弱で上流部では地すべり、土砂災害が絶えません。下流部では、上流からの大量の流出土砂のため、昔から氾濫の多い土地でした。

姫川では、平成7年「7.11水害」において大量の土砂流出や、急激に大量の水が流れたことによって堤防の底が洗掘され破堤するなど、大きな被害がありました。その後、河川整備を進めています。堤防整備は平成22年5月末の段階で約7割にとどまっています。全国屈指の急流河川であることから、今後も洪水時の水の流れにより堤防が削られる等の被害が予想されるなど、危険性が高く、対応が急がれています。



平成7年7月 姫川出水 糸魚川市上刈地区の堤防決壊状況

● 姫川の流域の概要

流路延長	60km
流域面積	722km ²
流域市町村	新潟県糸魚川市、長野県大町市、白馬村、小谷村（2市2村）
流域内人口	約1万8千人
支川数	47



平成7年7月 姫川出水 糸魚川市大野地先 堤防決壊状況

● 姫川・過去の主な洪水と洪水被害

発生年月日	発生原因	被害状況
昭和44年8月11日	台風7号	床上浸水120戸、床下浸水205戸、農業被害面積40ha
平成7年7月11日	梅雨前線	全半壊62戸、床上浸水66戸、床下浸水320戸、農業被害面積103ha

出典:水害統計(建設省河川局監修)

安全な川、親しめる川を目指して。

災害に強い川づくり

河川整備基本計画の策定

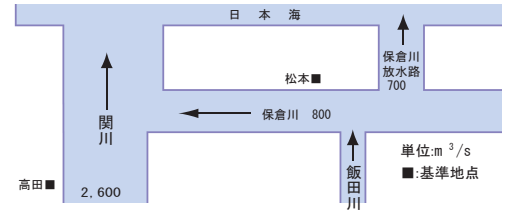
関川水系河川整備計画

関川水系の河川整備の基本となる「関川水系河川整備基本方針」を平成19年3月に策定し、当面の具体的な整備内容を定めた「関川水系河川整備計画」を平成21年3月に策定しました。

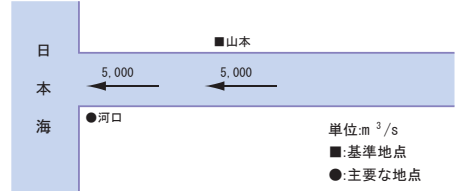
姫川水系河川整備計画

姫川水系の河川整備の基本となる「姫川水系河川整備基本方針」を平成20年6月に策定し、現在、「姫川水系河川整備計画」の策定に向け、姫川に造詣の深い学識経験者等の方々が意見を述べることを目的として「姫川有識者会議」を設置しています。

関川水系河川整備計画で定めた計画高水流量図



姫川水系河川整備基本方針で定めた計画高水流量図



治水対策の推進

関川の治水対策を推進

堤防浸透対策を実施します。

関川の堤防は近年に整備された新堤が多く、かつ、氾濫原の上に築堤された箇所も多く存在し、詳細点検の結果から一部区間において洪水や降雨などの浸透に対する安全性が低く破堤に至る危険性のある堤防が存在することが判明しています。

浸透に対する安全性が特に低い区間において、堤防の浸透対策を実施しています。



関川右岸・新道・福田地区

姫川の治水対策を推進

堤防整備を推進します。

姫川のような急流河川では、出水による河床の変動が大きいため、局所的な洗掘などにより堤防護岸の基礎部が被災し、堤防の損壊、ひいては破堤に至る危険性があります。

このような急流河川特有の洪水に対し安全となるよう、糸魚川市大野地区において低水護岸(根継)の整備を実施します。



姫川右岸・大野地区



姫川出水状況(大野地区)

河川整備と日常の管理

安心して暮らせる川づくり

日々の河川管理と危機管理

万一の災害に備え、河川管理施設等の機能を十分発揮できるように、日常は河川パトロール、施設等の維持管理、河川環境の調査及び保全などを実施しています。

また、河川災害や濁水、水質事故などの緊急時には速やかにその対応にあたります。



河川堤防除草



河川管理施設の操作訓練



水防関係機関との危険箇所等合同巡視



河川巡視



油流出事故対応訓練



ヤギによる堤防除草(試行)

河川の環境整備

自然とふれあえる水辺空間の創造

小学校や地域の皆さん等と連携して子供たちが安全に自然や川とふれあえる空間づくりを目指しています。



水生生物調査(上越市高土町)

関川・姫川をもっと身近に

桜等の植樹により河川の緑化を推進し、地域の方々に親しまれる水辺空間の創出を進めるとともに、堤防の強化と水防に必要な土砂備蓄等の機能整備を図っています。



姫川の桜づつみ(糸魚川市寺島地先)

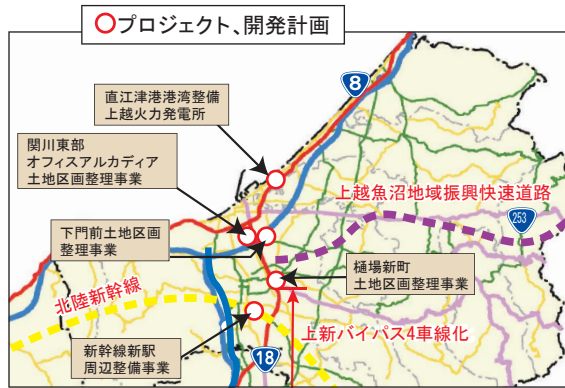
上越地域と道路

高田かわこく管内の道路整備

大規模プロジェクトに対応した地域ネットワークの形成

現在、「直江津港湾整備」、「新幹線新駅周辺整備事業」などの大規模プロジェクトや市街地での大規模商業開発が進められています。

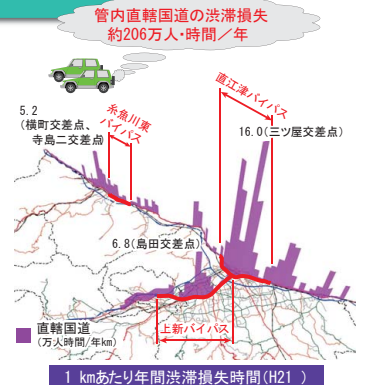
これらのプロジェクトに対応するため、「上新バイパスの4車線化事業」の他、国・県・市が連携して「上越魚沼地域振興快速道路」等のネットワーク整備を推進していきます。



中心都市の渋滞緩和

高田かわこく管内の直轄国道における年間渋滞損失時間は、206万人時間/年にも上っています。

このため、国道18号上新バイパスの4車線化や国道8号糸魚川東バイパスの整備並びに直江津バイパスの5車線化を行うことにより、朝夕のラッシュ時の渋滞を解消し、上越地域60分圏内の地域ネットワークを形成していきます。また、自動車の平均速度が向上することで、CO2の排出量削減も期待されます。



糸魚川東バイパス 梶屋敷東交差点方面



直江津バイパス(下り線)

中山間地域の生活や経済活動を担う主要幹線道路の改良

国道148号は長野県大町市から新潟県糸魚川市に至る延長71kmを結ぶ生活や産業活動に欠かせない主要幹線道路です。

しかし、当該地区は豪雪地帯であり、また平面・縦断線形が悪いことから、雪によるスリップ事故や登坂不能による渋滞、すれ違い困難箇所があるなど、非常に厳しい路線となっています。また、他に代替道路がないため、通行止めが発生した場合、地域の生活や経済活動に多大な影響を及ぼします。このため、これらの交通障害を解消するため、引き続き国道148号の整備を推進していきます。



国道148号(小谷道路) 改良箇所の状況



雪による大型車の渋滞状況

塩害による著しい損傷を受けた橋梁の恒久対策の実施

国道8号は日本海側の主要都市を結ぶ唯一の主要幹線道路として、産業や経済の発展に大きな役割を果たしているとともに、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

このうち、上越市から糸魚川市の約74km 区間は、日本海の荒波の影響を直接受ける厳しい塩害環境下に位置しており、コンクリート橋においても鋼材の腐食・損傷が著しい橋梁が確認されております。

このため、塩害による損傷が特に著しい能生大橋、両鬼橋、筒石橋及び老朽化が著しい青海跨線橋に対し、恒久対策として橋梁架替等を行います。



橋梁内部の鋼材破断状況



両鬼橋

「道の駅」による人と人との観光交流

高田かわこく管内には、7箇所の「道の駅」があり、人と街の交流ステーションとして魅力を発揮しています。駅内には駐車場や道路や地域の案内施設の他、地域の特産物やレストランなど、それぞれ個性あふれる施設・サービスを提供しています。

また、災害発生時における防災基地としての機能についても強化していきます。



道の駅あらい

安全で快適な道路整備

災害に強い道路を目指して

北陸の大動脈の確保 親不知の交通規制の減少を目指して

国道8号は、北陸自動車道とともに新潟県と北陸の各県及び関西地方をつなぐ物流の大動脈です。しかし、親不知地区は“交通の難所”であり、連続雨量120mm以上になると通行止めとなります。また、防災点検の結果、対策が必要とされる箇所が多数あることが判明しています。このため、今後対策が必要な箇所の整備を引き続き推進し、交通規制を少なくすることで、北陸の大動脈・国道8号の信頼性を高めていきます。



橋梁の耐震対策

近年多発している地震に備え、高田かわこくでは、落橋等の甚大な被害を防止し、第一次緊急輸送道路としての機能を確保するために、橋脚の補強や落橋防止の整備を進めています。

日本海の荒波に負けない道路のために

越波対策

海岸線を通る国道8号は、台風や冬期の波浪により、波が道路まで達することがあります。このため、海岸擁壁および消波ブロックの設置等の対策を行い、交通安全の確保に努めています。



国道8号の越波の状況(糸魚川市能生地先)

橋梁・洞門の塩害対策

日本海沿岸に沿った国道8号は厳しい塩害環境下にあり、橋梁や洞門は設置から30年以上経過し老朽化が進んでいます。

高田かわこくでは、安全で安心な道路確保するために、橋梁・洞門の補修を進めています。



弁天大橋(コンクリート剥離)



向山7号洞門(山側擁壁の補修状況)

日常の安全管理

道路の安全・安心は、日々の積み重ねから

厳しい自然環境の中にある道路を守るため、日頃から安全管理のための点検作業を行っています。



国道8号の防災点検(駒返トンネル[富山側坑口]下)



橋梁点検(国道18号 郷田切橋)

雪国の冬の安全・快適のために

道路除雪

わが国有数の豪雪地帯である上越地域の冬期道路交通を確保するため、地域の大動脈である国道8号に4箇所、国道18号に3箇所の除雪ステーションを設け、迅速な除雪作業を行っています。



グレーダーによる除雪状況



迅速な除雪によって緊急車両もスムーズに通行(国道18号妙高市関山)

人にも環境にもやさしい道づくり

歩道等の整備

誰もが安心・快適に暮らせるために

歩行者や自転車が安心して歩道等を利用できるように、歩道幅広及び段差をなくすバリアフリー化の整備を進めています。



国道8号藤崎自歩道の整備

無電柱化の推進

美しい景観と災害に強いまちづくりのために

安全で快適な通行空間の確保や、まちの景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性向上を目的に、電柱及び電線を地中化するなどの整備を実施しています。



国道8号寺島電線共同溝の整備

「かわ&みちナビ上越」

情報

地域に密着した「かわ」や「みち」の情報をお届けします。

高田かわこくではホームページ「かわ&みちナビ上越」にて、関川・姫川、国道8号、18号等のライブカメラ映像や事務所事業の紹介、緊急時の防災情報等を提供しています。みなさん、是非アクセスして下さい。



緊急情報

●現在、緊急情報はありません。

●LIVEカメラでリアルタイムな映像を見ることができます。



川LIVEカメラ



道のLIVEカメラ

●緊急情報があった時はここに内容が表示されます

ホームページアドレス <http://www.hrr.ml.it.go.jp/takada/>

地域の河川・道路情報は携帯電話からアクセス

かわナビ上越

携帯電話 <http://www.hrr.ml.it.go.jp/takada/kawanavi.html>

「かわナビ上越」では、県内の雨雲状況や降雨量、関川・姫川の河川水位情報をリアルタイムで確認することができます。

●雨量

各地区の降雨量の状況を表示します。

●水位

各河川の水位の状況を表示します。

★関川水系

- > 関川/赤倉
- > 関川/三子島
- > 関川/高田
- > 関川/関山(気象庁)
- > 矢内川/三浦
- > 保倉川/長沢
- > 長沢川/長沢(新潟県)
- > 土路川/橋本(気象庁)
- > 飯田川/飯田川(新潟県)
- > 堀池川/青柳

★姫川水系

- > 姫川/山本
- > 姫川/川口
- > 姫川/雨中(長野県)

4 その他



かわナビ上越QRコード

みちナビ上越

携帯電話 <http://www.takada-kawakoku.go.jp/>

「みちナビ上越」では、上越地域の道路工事や災害による通行規制、冬期の積雪情報や気象情報(雨量・気温)について、携帯電話からリアルタイムで確認することができます。

1. 雪みち情報(国道8号・18号)
一般国道8号、18号の降雪・積雪・気温情報を提供
●新着LIVEカメラ

2. 観不知雨量規制情報
青海町観不知地区の雨量規制情報を提供

3. 道路規制情報
一般国道8号、18号の道路規制情報を提供

4. 雪みち情報(上越地域リンク)
県道、市道、高速道路の雪みち情報リンク

時間雨量 20mm
連続雨量 26mm
規制状況はこちらへ

規制値は
連続雨量 120mm
気象観測所 観不知
区間延長4.2km
(国道距離標:
183.4~187.6km)



みちナビ上越QRコード

道の相談室



「道の相談室」では、新潟県、富山県、石川県を対象地域として、道路に関する疑問・質問、ご意見をお待ちしています。

☎0120-106-497

●FAX 025-280-8938

●電子メール hr-michi@hrr.ml.it.go.jp

■受付時間/8:30~17:15

(土日祝を除く・ファクシミリ、電子メールは24時間受付)

道路緊急ダイヤル



高田かわこく管内の国道8号、18号で道路の異状(路面の汚れ、落物、路面の穴ぼこ等)をみつけたら、左記番号までご一報下さい。

関川・姫川の洪水の危険度と避難行動(各水位がもつ意味)

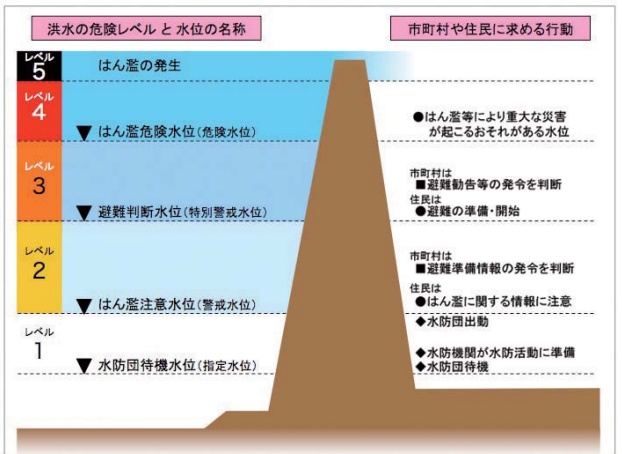
■国管理区間

平成22年度

水系名	河川名	観測所	水防団待機水位 (指定水位)	はん蓋注意水位 (警戒水位)	避難判断水位	はん蓋危険水位 (危険水位)	計画 高水位
関川	関川	高田	3.18	3.78	5.05	6.05	6.68
	保倉川	佐内	(3.30)	(4.30)	4.67	(5.67)	
姫川	姫川	山本	0.74 (500m ² /s)	1.32 (1,000m ² /s)	1.92 (1,413m ² /s)	2.28 (1,715m ² /s)	4.91 (5,000m ² /s)

※姫川の山本水位観測所の水位については毎年見直しています。

高田河川国道事務所では、関川・保倉川・姫川の水位を監視しています。洪水の際は、以下の「川の防災情報」や、河川にある量水標などにご注意ください。



地域の河川情報の提供「川の防災情報」

「川の防災情報」では、インターネットや携帯電話でリアルタイムの雨量や河川水位の情報を確認することができます。川でのレジャーの際には、「川の防災情報」で事前に雨や水位の情報を入手し、水難事故が無いように心がけましょう。



レーダー雨量

ホームページアドレス <http://www.river.go.jp/>

携帯電話 <http://i.river.go.jp/>



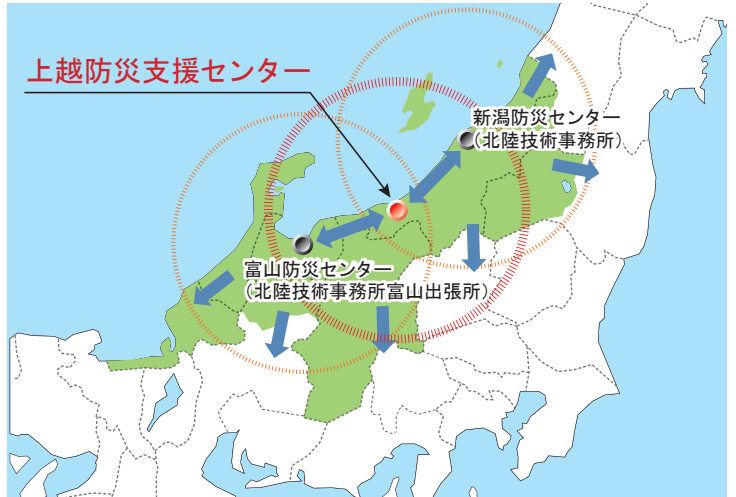
QRコード

地域で取り組む災害対策

地域防災の活動拠点として

高田河川国道事務所には、地域の災害に対し支援を行うための排水ポンプ車・照明車などの機械や、衛星画像伝送装置等の通信機器が配備されています。これらの機器は、災害時に迅速かつ確実な移動が求められることから、定期的に設置操作訓練を実施しています。

また、当事務所管内には、より広域的な防災拠点となる「上越防災支援センター」が置かれています。近年では、平成16年の新潟・福島豪雨水害、新潟県中越地震、以後の中越沖地震、岩手・宮城内陸地震など大規模災害等の復旧支援活動に、当センターから各種機械や緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)に指名された職員が現地に派遣されています。



災害対策用機械の操作訓練



排水ポンプ車・照明車による夜間訓練状況



衛星小型画像伝送装置(Ku-Sat)による通信訓練

主な災害対策用機械・通信機器一覧表

災害対策機械		災害対策用通信機器類	
機械名	数量	通信機器名	数量
対策本部車(拡幅型)	1台	衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)	3台
衛星通信車(可搬用)	1台	簡易画像伝送装置(パソリンク)	1組
排水ポンプ車(60m ³ /min)	2台	画像無線伝送装置(5.8GHz)	1台
待機支援車(支援用バス型)	1台	ヘリ画像受信装置(固定局)	2台
待機支援車(資材運搬用)	1台	ヘリ画像受信装置(可搬用)	1台
情報収集車(先遣用)	1台		
照明車(2kw×6灯・ブーム式)	1台		
遠隔操縦対応型油圧ショベル(1.4m ³ 級)	1台		
応急組立橋(7×50m・歩道付)	1橋		
排水ポンプ車(30m ³ /min)	4台		
照明車(2kw×6灯・2柱式)	3台		

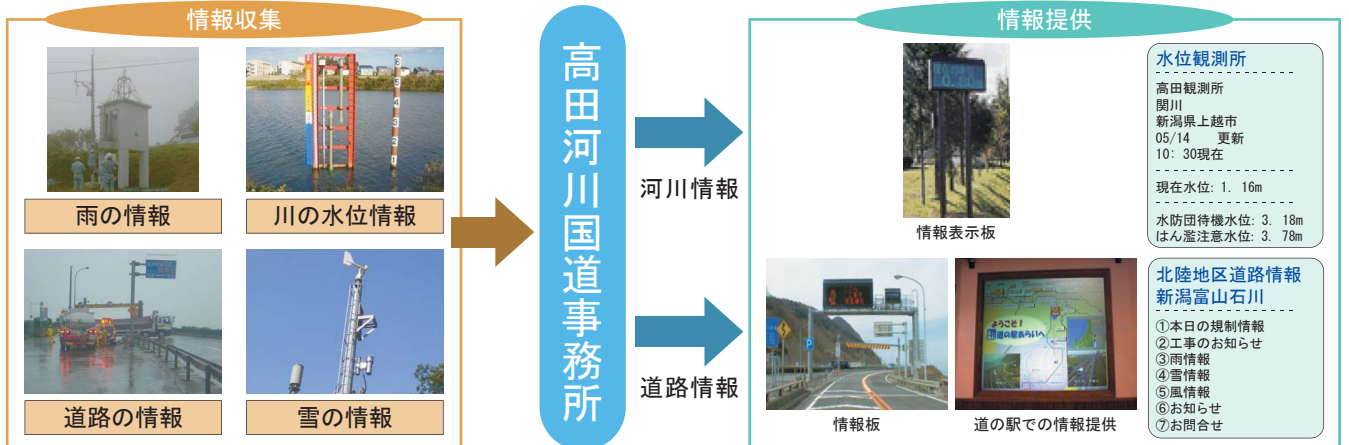
広域対応 地域対応



災害対策用車両
2010年4月現在

情報の収集・伝達・提供 最新情報を素早くお知らせ - 河川・道路の“今”を伝えます-

雨量、水位、道路状況等、刻々と変わる河川、道路の情報を収集し、各地の情報板、HP、携帯電話端末への情報提供など、最新情報を地域のみならずへ素早くお知らせしています。



携帯電話アドレス

河川 <http://i.river.go.jp/>

道路 <http://its.hrr.mlit.go.jp/its/index.jsp>

高田かわこくです

●事務所の概要と沿革

年	事業沿革
昭和33	6月 北陸地方建設局高田国道工事事務所設置 国道8号(中頭城郡柿崎町から西頸城郡能生町まで)および国道18号(長野県境から直江津市の国道8号交差点まで)の改築ならびに維持修繕工事を担当
40	国道8号 柿崎～直江津間の一次改築完了 国道18号 管内の一次改築完了
41	国道8号 直江津バイパス事業化
42	国道8号 管内の一次改築完了
43	4月 黒部工事事務所が担当していた国道8号糸魚川市から富山県境までの区間が移管される。 直江津バイパス 工事着手 親不知防災工事本格化
44	4月 関川および姫川が一級河川に指定 関川(保倉川含む)、姫川の一部が直轄管理区間となり、高田国道工事事務所は「高田工事事務所」に名称変更 関川水系および姫川水系の工事実施基本計画策定
45	12月 直江津バイパス 三ツ屋～石橋(3.0km)暫定2車線で供用開始
46	12月 直江津バイパス 犀湯～三ツ屋(5.6km)暫定2車線で供用開始
49	10月 直江津バイパス 石橋～虫生岩戸(3.25km)完成により全線供用開始(11.81km)
50	9月 国道18号 上新バイパス事業化 糸魚川バイパス 4車線供用開始
53	11月 上新バイパス 工事着手 直江津バイパス 三ツ屋～下門前(1.7km)4車線供用開始
57	9月 関川 台風18号による大洪水が発生し、「関川河川激甚災害対策特別緊急事業」採択 11月 上新バイパス 寺町～今池(4.22km)暫定2車線で供用開始
58	10月 国道18号 妙高野尻バイパス事業化 上新バイパス 今池～三田(6.98km)暫定2車線で供用開始
60	7月 保倉川 梅雨前線豪雨による大洪水が発生し、「保倉川河川激甚災害対策特別緊急事業」採択 10月 上新バイパス 富岡～下源入(1.9km)4車線供用開始

年	事業沿革
61	10月 上新バイパス 乙吉～寺町(1.66km)暫定2車線で供用開始 11月 直江津バイパス 下門前～石橋(1.3km)関川大橋0.265km含む)4車線供用開始
62	9月 上新バイパス 長森～乙吉(3.84km)暫定2車線で供用開始 11月 関川河川激甚災害対策特別緊急事業 完成
63	10月 上新バイパス 志～長森(0.6km)暫定2車線で供用開始
平成元年	11月 保倉川河川激甚災害対策特別緊急事業 完成 上新バイパス 藤沢～志(3.9km)暫定2車線で供用開始
3	7月 上新バイパス 市屋～藤沢(2.2km)完成により全線供用開始(24.6km)
5	国道148号 (小谷道路)の改築事業を権限代行事業として担当
7	7月 関川、保倉川、姫川 梅雨前線豪雨による大洪水が発生
9	7月 国道18号 妙高野尻バイパス(4.0km)供用開始
11	11月 上新バイパス 寺～富岡(2.2km)4車線供用開始
13	1月 建設省 北陸地方建設局 高田工事事務所から「国土交通省 北陸地方整備局 高田工事事務所」へ移行 上越三和道路(上越市寺～三和区本郷間)の改築事業を権限代行事業として担当
14	5月 保倉川にマリナー上越完成
15	4月 国土交通省 北陸地方整備局 高田工事事務所から「国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所」に名称変更
18	3月 上新バイパス 子安～寺(2.9km)4車線供用開始 11月 小谷道路、新光明沢橋完成 12月 上新バイパス下源入交差点改良工事完成
19	3月 関川水系河川整備基本方針策定
20	6月 姫川水系河川整備基本方針策定
21	3月 関川水系河川整備計画策定 糸魚川地区橋梁架替事業化 12月 上新バイパス 今池～子安(1.2km)4車線供用開始
22	3月 糸魚川東バイパス 梶屋敷～大和川(1.8km)暫定2車線で供用開始

黒は事務所沿革、青は河川事業、緑は道路事業を示します。

組織と業務内容

平成22年4月現在

課名	係名	電話番号	FAX	業務内容
総務課	総務係	025-521-4500	025-526-0411	一般業務・事務所の窓口
	職員係	025-521-4511		
経理課	経理係	025-521-4516	025-526-3949	経理・契約事務
	契約指導係			
品質確保課	技術審査第一係	025-521-4570	025-521-4574	工事発注等に関する技術審査 工事検査業務品質確保施策に関する業務 新技術に関する業務
	技術審査第二係			
防災課	防災対策係	025-521-4566	025-526-2105	防災関係全般に関する業務 建設機械、電気通信施設に関する業務
	防災情報係			

河川関係

課名	係名	電話番号	FAX	業務内容
用地第一課	用地係	025-521-4520	025-523-5236	関川、姫川の用地取得に関する業務 国道148号の用地取得に関する業務
工務第一課	工務係	025-521-4530	025-522-3866	関川、姫川の工事に関する業務 営繕に関する業務
	設計係	025-521-4531		
調査第一課	河川調査係	025-521-4540	025-522-3866	関川、姫川の調査・計画に関する業務 関川、姫川の水防に関する業務
	河川計画係	025-521-4541		
	水防企画係	025-521-4542		
河川管理課	河川管理係	025-521-4550	025-526-7431	河川管理施設の維持修繕に関する業務 河川行政相談窓口、河川の水利権等の許認可に関する業務

道路関係

課名	係名	電話番号	FAX	業務内容
用地第二課	用地第一係	025-521-4525	025-523-5236	国道0、18号、上越三和道路の用地取得に関する業務
	用地第二係	025-521-4526		
工務第二課	工務係	025-521-4535	025-524-5265	国道0、18、148号、上越三和道路の新設改築工事に関する業務
調査第二課	道路調査係	025-521-4545	025-524-5265	国道0、18、148号、上越三和道路の調査計画に関する業務
	道路計画係	025-521-4546		
道路管理第一課	道路管理係	025-521-4555	025-523-9589	国道0、18号の道路の占用、請願工事及び特殊車両の通行等に関する業務
	占用係	025-521-4556		
道路管理第二課	特車窓口	025-521-4557	025-526-2105	国道0、18号の維持修繕及び除雪等に関する業務
	維持係	025-521-4560		
	修繕係	025-521-4561		
交通対策課	交通対策係	025-521-4562	025-523-9589	国道0、18号の交通安全に関する業務

出張所名	所在地	電話番号	担当区間及び所掌事務
高田出張所	〒943-0835 新潟県上越市本城町9番10号	025-523-6894	一級河川 関川 支川 保倉川の改修及び維持管理
糸魚川出張所	〒941-0067 新潟県糸魚川市横町1丁目21番1号	025-552-1660	一級河川 姫川の改修及び維持管理
直江津国道維持出張所	〒943-0166 新潟県上越市大字寺宇前新田615-1	025-525-7724	国道8号 上越市柿崎区竹鼻～糸魚川市徳合(41.1km) 国道18号 長野県上水内郡信濃町野尻～上越市下源入(37.8km)
糸魚川国道維持出張所	〒941-0067 新潟県糸魚川市横町1丁目21番1号	025-552-0921	国道8号 糸魚川市徳合～富山県下新川郡朝日町境(48.2km)
糸魚川監督官室	〒941-0067 新潟県糸魚川市横町1丁目21番1号	025-552-7039	糸魚川東バイパス、小谷道路の改築

高田河川国道事務所

〒943-0847 新潟県上越市南新町3番56号
電話 025-523-3136(代表) FAX025-526-0411
ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/>

